

平成16年度協働事業提案 一覧

(平成16年6月1日現在)

受付番号	提案事業名(受付順)	目的	内容	提案者 (敬称略)
1 5/6	いざという時のお隣近所	災害・事故・事件の被害を最小限にするため、市民の互助力をつける。 ・ 自助努力、互助努力そして公助を待つ力 ・ 闘う市民力(ボランティアではなく一人の人間として何が必要か、何ができるか)	自治会の班単位程度の人たちを個人宅又は自治会館等に集め、防災や被害を最小限にする為の方法、準備しておくといよい物等を皆さんとともに考え共有し、日ごろの心がけを大切にしていだけるよう、意識が高まるよう働きかける。	やまと災害ボランティアネットワーク
2 5/20	コミュニケーション支援事業	地域市民に対するカウンセリングスキルに関する支援を中心に、一人ひとりのコミュニケーション能力の向上とリレーションシップ作りに寄与するため、カウンセリングの研修、子育て支援に関する事業等を行い、地域コミュニティ全体の利益増進に寄与することを目的にする。	(1) カウンセリングに関する講座や研修会の開催 10月から2月まで、大和市生涯学習センターで5回連続の講座を開催する。 (2) 子育て支援に関する講座や研修会の開催 10月から2月まで、大和市生涯学習センターで5回連続の講座を開催する。 (3) 学習会やシンポジウムの開催 8月に市民参加のシンポジウムを開催したいと予定している。テーマは「今、子どものためにできること」(案)	NPO法人 カウンセリングコミュニケーションサポートセンター
3 5/24	子どもたちの暮らしやすい地域創り	バリアフリーの社会を目指し、赤ちゃんからお年寄りまでが笑顔で暮らせる地域まちづくり。社会現象で現れている、不登校・ひきこもり・虐待などのマイナスストロークを受け止められるだけの地域力をつけたい。全てを受容して暮らせるまちづくりを目指す。	・ 里子の受け入れ(虐待児童) お泊り(土・日) ・ 福祉施設との交流(老人施設・障害施設) ・ 母親クラブとの交流 ・ ストレッチ教室(子育て中の親子から高齢者まで) ・ 子育て支援(相談業務・遊び場の提供 他) ・ 地域を巻き込みながらよい環境づくりの提案 ・ 学習・勉強会 月1回ペース ・ カウンセリング(不登校・ひきこもり・学習障害) ・ 合同でキャンプ。バザーイベントの企画 ・ クッキングスクール・ぬいもの教室	NPO法人 地域家族しんちゃんハウス

(目的・内容について事務局が一部要約している個所があります。) 1

平成 16 年度協働事業提案 一覧

(平成 16 年 6 月 1 日現在)

受付番号	提案事業名(受付順)	目的	内容	提案者 (敬称略)
4 5/25	高齢者、障害者、病弱者などの在宅生活を支援する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者、病弱者などの在宅生活を支援する ・困った時お互いに助け合っていくことのできる豊かな地域社会作りを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家事サービス(調理、洗濯、掃除、買い物等) ・介護サービス(外出介助、入浴介助、清拭、オムツ交換等) ・子守、保育園の送迎(ひとり親家庭、両親の病気の時、その他) ・病院関係(病院への付き添い、入退院の手続き、日用品の補給、買い物、食事介助、身の回りのお世話、見守り等) ・お花見、お墓参り、友人宅の訪問などの同行 	NPO法人 ワークス・コレクティブ想
5 5/25	「市民による市民の為に市民が作るウェブサイト」	<p>現在行政や企業発信の「IT情報プラン」は活発に計画され実績も積んできたと思うが市民による市民の為に情報プランはこれまであまり見ないと思う。</p> <p>市民や中小、個人商店が使い易い、地域に密着した市民のためのウェブサイトは是非立ち上げてみたい。</p>	<p>地域版「yahoo」や「Excite」を目指す。他のサイトと違うところは「市民参加型」だという点。みんなの意見や希望で作っていくため、自由ですばらしい発想が生まれるかもしれない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1,000 円/時間パソコン講習会 2 1,000 円/月チラシ 3 ウェブサイト商店街 4 地域自治ネットワーク 5 コミュニティビジネスネットワーク 	友部 浩
6 5/26	生ゴミ分別回収事業	家庭及び事業者から排出される生ゴミの分別回収及びたい肥化	<p>家庭及び事業者からの排出生ゴミを有料で回収、たい肥化して販売する。</p> <p>特に事業者からは有料とする。</p> <p>先ずある地区を限定し、プロジェクトチームを作り3年を目途に実施、その後拡大する。</p>	松井 昭治
7 5/27	相模大塚駅に行列のできる店をオープンさせる事業	相模大塚駅南側を活性化させるために諸事業を開発する。	<p>相模大塚駅南側に現在空き地となっている土地(相模鉄道(株)社有地)約250坪に相鉄線の旧型電車3台を『コの字型』においてショップを構成する。</p> <p>経営方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 相模鉄道(株)と地元の協力者とのジョイント 2) 自治会とのベンチャー 	桜森自治会

(目的・内容について事務局が一部要約している個所があります。) 2

平成16年度協働事業提案 一覧

(平成16年6月1日現在)

受付番号	提案事業名(受付順)	目的	内容	提案者 (敬称略)
8 5/28	悪い大人に負けないための法律講座	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の(小)中学生のかかえる法的問題を共有する。 ・市内の(小)中学生に最低知っておくべき法的知識を提供する。 ・弱年層を「食い物」にしようとしている大人たちに対抗する法的予防措置を講じる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 市内の(小)中学校に出前で、「法律講座」を行う。(月1回程度) 2) 各校の文化祭等の行事で特別講演を行う。 3) 学校当局との協力のもとに、個別の相談を受ける。 4) 生徒と共に身近な法的問題についての学習・研究を行う。 	神奈川県行政書士会 大和・綾瀬支部
9 5/28	大和市民が考えたアイデア商品 <u>(6/1 辞退)</u>	アイデア商品を考えている人達の商品化支援をおこない「大和市民が考えたアイデア商品」として全国に展開し、大和市民の活性化を図ると同時に大和の産品とする。	<p>日常生活上のアイデア商品を考えている人たちが多く、そういった人たちのアイデアの商品化支援をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特許出願支援 2 試作支援 	個人提案
10 5/28	レジ袋の廃止 <u>(6/1 辞退)</u>	<p>地球環境 並びに資源問題を考慮しレジ袋の完全廃止を図ることを目的とする。</p> <p>クリーンな地球を目指し、我々の我慢のできる範囲で、一つ一つ皆で出来る事から協力し合って実行していく事が大切である。</p>	日常買い物する中で使用されるレジ袋の量は大変な量となっている。いくつかの自治体でレジ袋を使用しない運動を進めている(大和市も)が根本から廃止しようとしての取組はされていない。使用される企業・生産している企業・消費者・それに自治体の協力の基で取組みお互いの利益を生み出す仕組み作りを検討する。	個人提案

平成 16 年度協働事業提案 一覧

(平成 16 年 6 月 1 日現在)

受付番号	提案事業名(受付順)	目的	内容	提案者 (敬称略)
1 1 5/31	CAP プログラム(子どもへの暴力防止プログラム)提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに、さまざまな暴力に対応するための力(問題解決力)をつける。 ・子どもの人権が尊重されるコミュニティ(地域)づくり。 大人へのプログラムを親や教職員、地域の大人たちへ提供することでエンパワメント、人権意識などの考えや暴力に対する知識、情報、技術などを大人同士が共有し、互いに助け合う地域を作って、地域全体で子どもたちをサポートしていけるようにします。	市内小学校、中学校に、大人ワークショップ(教職員ワークショップ、保護者ワークショップ)と子どもワークショップを開催する。 1) 大人ワークショップ(約 2 時間) 2) 子どもワークショップ ・小学校(2 時限) ・中学校(2 時限× 2 日間) 子どもワークショップは、必ず大人ワークショップを開催しないとできません。なお、大人ワークショップは、単独で開催できます。 1 学校全学年全クラスで一定期間にワークショップを実施するのが最も効果的である。全校の子どもと大人が CAP のメッセージを共有することで、学校、家庭、地域で起こる様々な問題解決に大きな効果をもたらしてきた。	NPO 法人やまと CAP ひまわり
1 2 5/31	ホームファーマー制度を支援し、「地産地消」「有機農業」を推進するための基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市が始めるホームファーマー制度により生産される農作物の流通・生産の支援・PR の面から支えるしくみを構築することで、ホームファーマーが定着しやすい環境をつくること。 ・これを通じ、大和地域での「地産地消」「有機農業」が推進されること。 	1) ニーズの調査 ホームファーマー、有機農業者等を対象とした、生産物や援農のニーズを検討する。必要に応じてホームファーマー希望者へのアンケートなどを行なう。 2) 支援のしくみの検討 上記の結果を踏まえ、必要な仕組の提案をおこなう。この中で、インターネットをお店とする、生産物の流通のしくみである、「Loves 元気やさいネット・やまと」のシステムを再検討し、必要な改善を加え、新たに就農するホームファーマーの生産物の流通の場、農繁期の草むしりなどの農家の仕事を支える人の輪作りのしくみとしての可能性を検討する。 3) ホームファーマー支援のしくみの提供 流通や援農のしくみの実現のために必要な対策を協議のうえできることから実施する。	NPO 法人ラブスサポートセンター

(目的・内容について事務局が一部要約している個所があります。) 4

平成 16 年度協働事業提案 一覧

(平成 16 年 6 月 1 日現在)

受付番号	提案事業名(受付順)	目的	内容	提案者 (敬称略)
13 5/31	大和市男女共同参画に関する市民意識調査 (現在、内容につき協議中です。)	平成13年度に作成した「やまと男女共同参画プラン」による「第1次実施計画」が平成17年度に計画期間が終了するため、新たに平成18～22年度を計画期間とする「第2次実施計画」を作成する必要性が生じている。事業の実施により、これまでの第1次実施計画の成果を評価すると共に、第2次実施計画作成の基礎資料とする。	住民基本台帳から16歳以上の市民3000人を抽出 返信用の封筒とあわせ20問程度の質問用紙郵送 回答を電算処理及びパソコンによりデータベース化 データの解析	大和市 市民活動課
14 5/31	市民主体の(仮称)市民活動センター運営事業	「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」第9条に基づき設置される(仮称)市民活動センターが、市民、市民団体、及び事業者が行う社会貢献活動を支援するための拠点として、充実した機能を備えていくことを目的とします。	協働の拠点の機能については、現在準備会において検討中です。 【現在までで、検討されてきた拠点のイメージ】 多様な市民・市民団体・事業者による市民活動をさらに活発にするための事業 これから活動しようとする市民や事業者への情報提供や支援事業 新たな市民活動やNPOを創出するための事業 協働事業を拡大・充実するための事業 多様な拠点をネットワークする事業	大和市 市民活動課